



# DATA in 九州

九州の身近なデータを  
ワンポイント解説する  
コーナーです。

## 今月の注目データ

今月は「手延べそうめんの生産量」と「過去10年間の平均年間降水量」です。



手延べそうめんの生産量

検索



過去10年間の平均年間降水量

検索

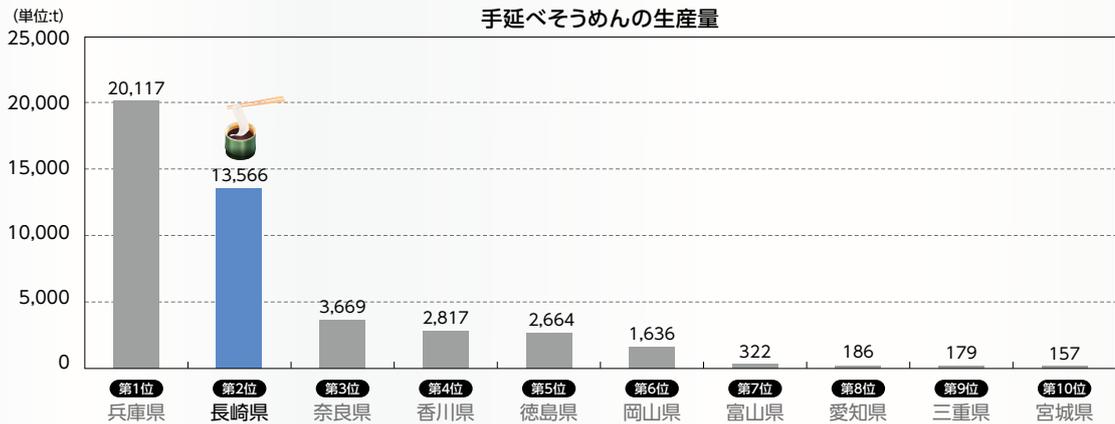




## 手延べそうめんの生産量

日本には、ラーメン、うどん、そば、そうめん等、様々なめん類食品があります。中でも、手延べ製法で作られたそうめんは、コシの強さや、ツルンとしたのどごしを楽しめます。生産量を見ると、島原を中心に生産が盛んな長崎県が全国第2位を誇っています。本誌本号21ページでもご紹介しているとおり、乾燥した気候や清らかな湧き水等、そうめん作りに適した自然条件に恵まれていることが、そうめん生産の決め手となります。

梅雨が明けると本格的な夏が到来します。食欲が減退しがちな暑い夏、冷たく冷やしたそうめんが食欲をそそります。



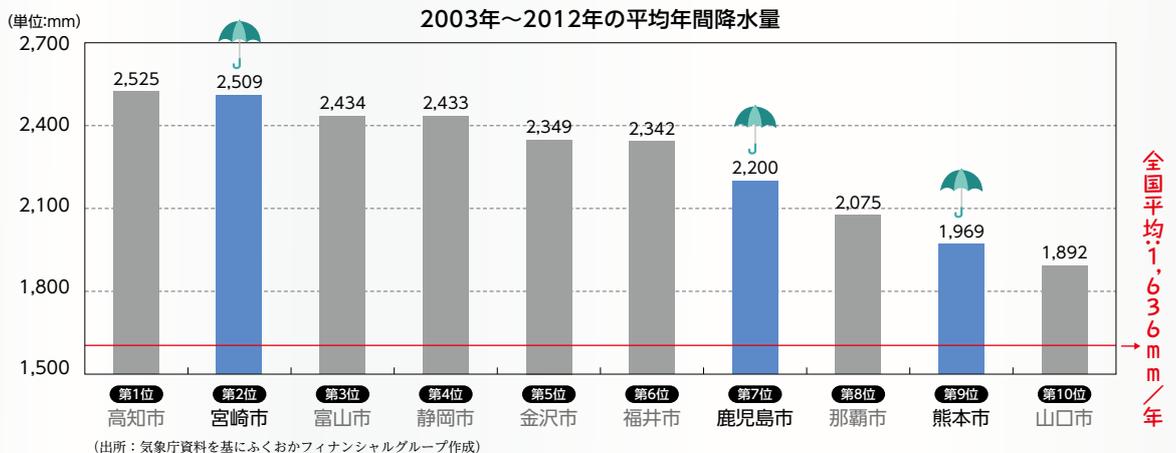
(出所：2009年農林水産省「米麦加工食品生産動態等統計調査年報」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



## 過去10年間の平均年間降水量

じめじめと蒸し暑い日が続くこの季節、一刻も早い梅雨明けを望む方も多いのではないのでしょうか。2003年～2012年の平均年間降水量を都道府県庁所在地別に見ると、宮崎市が全国2位、鹿児島市が7位、熊本市が9位と、九州各県が上位に入っています。宮崎市では、沿岸を通る暖流“黒潮”がもたらす暖かく湿った空気が、九州山地にぶつかって雲となるため、降水量が特に多くなります。

沖縄では、今年の梅雨は31日間と歴代5番目の短さだったにも関わらず、那覇市の降水量は平年の2倍近くにもなりました。九州の梅雨明けにはもう少し時間がかかりそうですが、適度な雨量を願いたいものです。



## 福岡県の最近の経済動向

### 福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動は、鉄鋼、化学の増産により、緩やかな持ち直しの動きが見られます。住宅建設は、消費税増税を意識した着工により3ヵ月連続で前年を上回りました。大型小売店販売額も主力の飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。

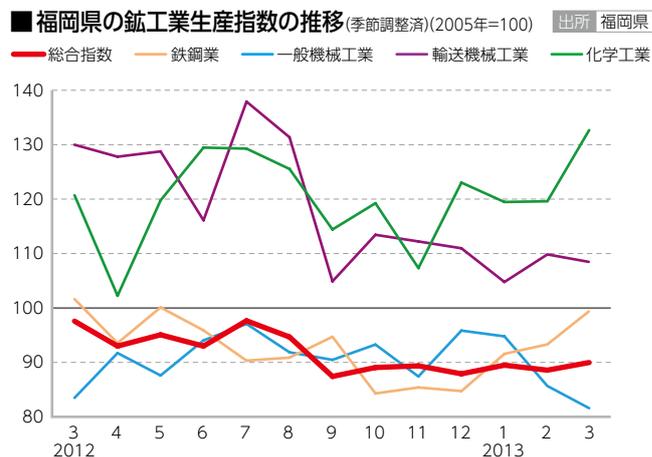
福岡県の景気は、好調な住宅建設や公共工事に加えて、生産も増加する等、回復の動きが広がりを見せており、持ち直しの動きが続いています。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は89.4と前月比1.0%上昇しました。

主要業種では、鉄道用レール等の生産が増加した鉄鋼や、医薬品・合成樹脂原料等が増産となった化学が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。



### 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比1.8%減の535億円となりました。

衣料品は春物・初夏物の売上が伸び悩んだものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、消費は総じて堅調に推移しています。





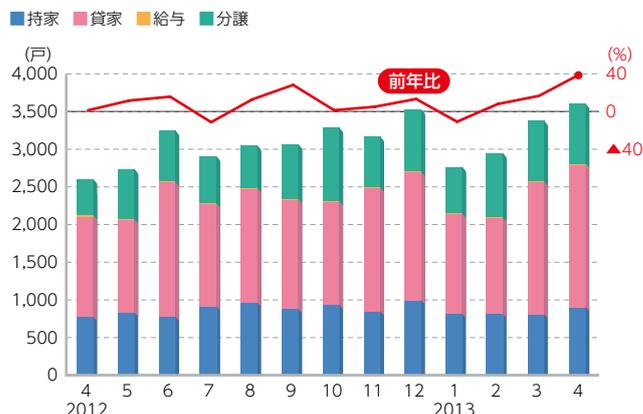
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

4月の新設住宅着工戸数は、3,550戸と前年同月比37.0%増加し、3ヵ月連続で前年を上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「分譲(戸建)」が好調に推移した他、「貸家」「分譲(マンション)」も前年を上回りました。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数(戸建)も、高水準で推移しており、着工増加に向けた動きが継続しています。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 好調に推移している

4月の公共工事保証請負状況は、件数は545件で前年同月比29.5%増加し、金額は479億円で前年同月比70.7%増加しました。

高速道路関連の発注があった「独立行政法人等」や、学校校舎新築工事があった「その他(自治体外郭団体)」等が前年から増加し、全体でも前年を上回る等、好調に推移しています。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



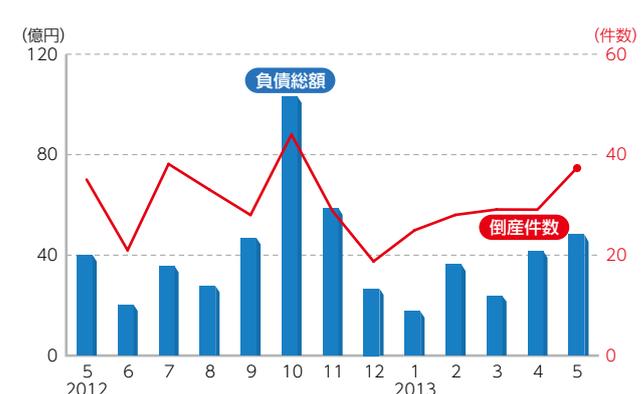
### 5.企業倒産 | 足元増加の動き

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比5.7%増の37件、負債総額が同18.7%増の47億円となりました。

販売不振を原因に製造業(食品加工、家具製造)等で倒産が発生し、負債総額が3ヵ月連続で増加する等、小幅ながらも足元増加の動きが見られます。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

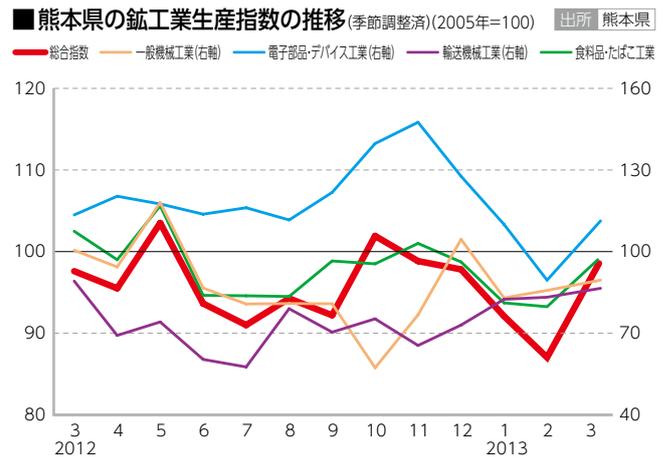
生産活動は、集積回路の増産により電子部品・デバイスが上昇する等、持ち直しの動きが見られます。住宅建設は好調を維持している他、大型小売店販売額も主力の飲食料品が前年を上回る等、堅調に推移しています。公共工事は、大型案件の発注があり前年を大幅に上回りました。熊本県の景気は、生産や公共工事が回復する等、総じて持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比12.8%上昇の98.1となり、5ヵ月ぶりに前月を上回りました。

主要業種では、スマートフォン向けの半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが4ヵ月ぶりに上昇した他、食料品が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。



### 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比1.9%減の128億円となりました。

衣料品は伸び悩んだものの、主力の飲食料品が前年を上回る等、消費は総じて堅調に推移しています。



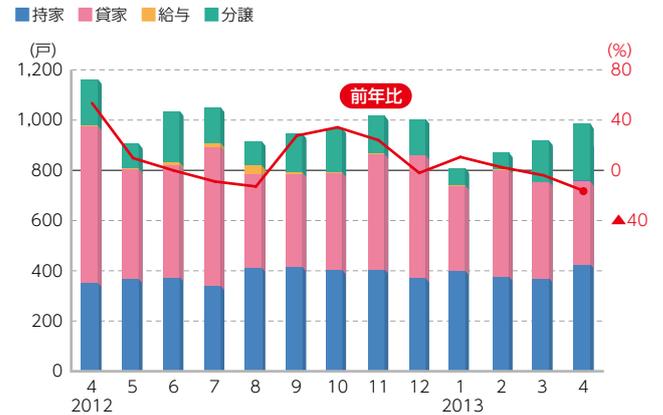
### 3.住宅建設 | 好調を維持している

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比15.5%減少の983戸となりました。

「貸家」が前年から大幅に減少したものの、「持家」が消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しており、前月比では4ヵ月連続で増加しました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



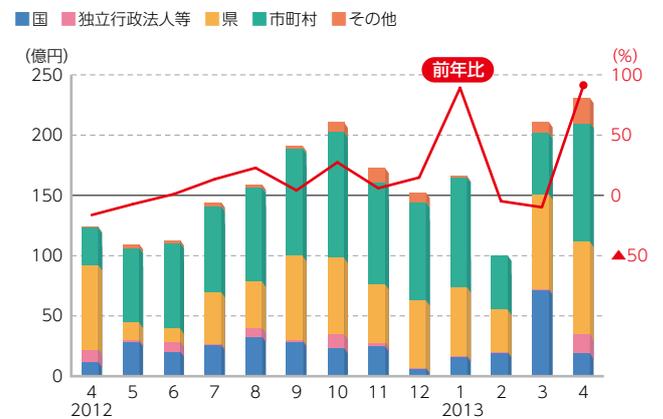
### 4.公共工事 | 好調に推移している

4月の公共工事保証請負状況は、件数は487件で前年同月比70.3%増加し、金額は228億円で同84.0%増加しました。

発注者別では、市庁舎建設の大型案件があった「市町村」をはじめ、全ての発注者で前年を上回る等、好調に推移しています。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



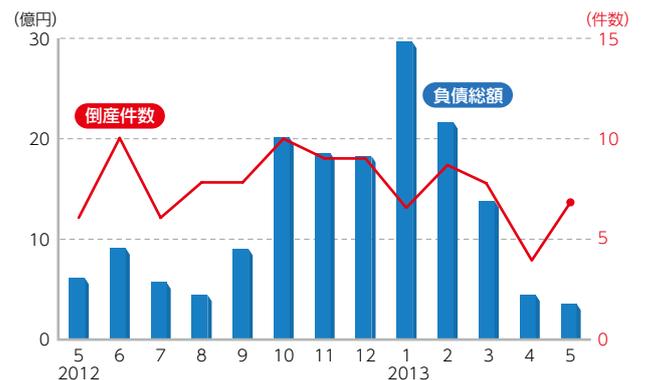
### 5.企業倒産 | 小口の倒産が相次ぐ

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%増の7件、負債総額が同40.1%減の4億円となりました。

金額は低位で推移しているものの、1億円未満の小口の倒産が相次ぎ、件数は前月比でも増加しました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、半導体集積回路の減産により電子部品・デバイスが低下する等、一部に弱さが見られます。

大型小売店販売額は、昨年末からの大型スーパーの開業効果もあり、堅調に推移しています。住宅建設及び公共工事は、大幅に前年を上回りました。

長崎県の景気は、生産に弱さが見られるものの、住宅建設や公共工事が好調に推移する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比6.5%低下の110.0となり、2ヵ月連続で前月を下回りました。

主要業種では、造船関連の生産が増加した輸送機械が上昇した一方、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスは2ヵ月連続で低下する等、生産は一部に弱さが見られます。



### 2.大型小売店 | 総じて堅調に推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%減の91億円となりました。

衣料品は伸び悩んだものの、昨年末から大型スーパーが相次いで開店した効果の継続により、主力の飲食料品が前年を上回る等、消費は総じて堅調に推移しています。





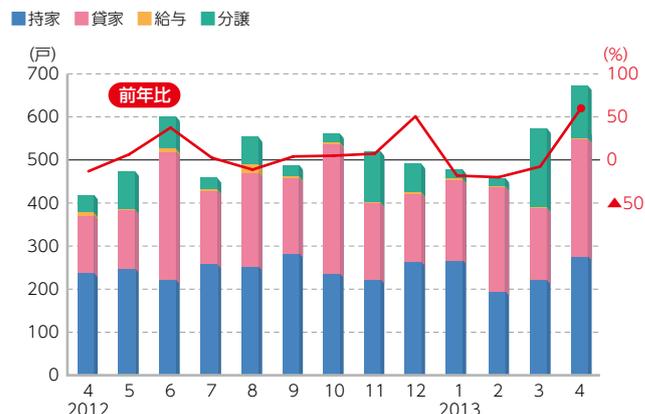
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

4月の新設住宅着工戸数は、669戸と前年同月比59.7%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「貸家」が急増した他、「持家」「分譲(マンション)」も前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 好調に推移している

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比13.4%増の144件、金額は同28.5%増の125億円となりました。

九州新幹線関連工事の発注があった「独立行政法人等」をはじめ、全ての発注者で前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比70.0%減の3件、負債総額が同64.0%減の6億円となりました。

製造業(機械製造)で1億円以上の倒産があったものの、負債総額、件数ともに概ね低水準で推移しています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 佐賀県の最近の経済動向

### 佐賀県の景気 | 緩やかに持ち直しているが、一部に弱さも見られる

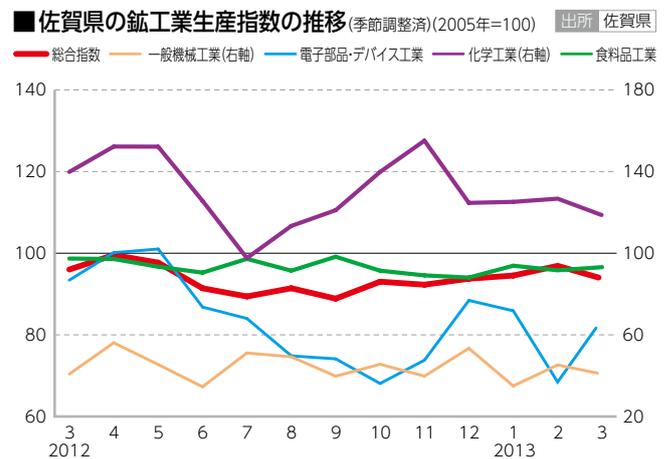
生産活動は、シリコンウェハーが減産した電子部品・デバイスが低下する等、一部に弱さが見られます。住宅建設は、好調に推移していますが、大型小売店販売額は、衣料品、飲食料品共に前年を下回りました。佐賀県の景気は、緩やかに持ち直していますが、一部に弱さも見られます。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 一部に弱さが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.7と前月比4.0%低下しました。

主要業種では、シリコンウェハーが増産した電子部品・デバイスが上昇した一方、医薬品が減産した化学が低下する等、生産は一部に弱さが見られます。



### 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の52億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品共に前年を下回る等、消費は弱含みで推移しています。





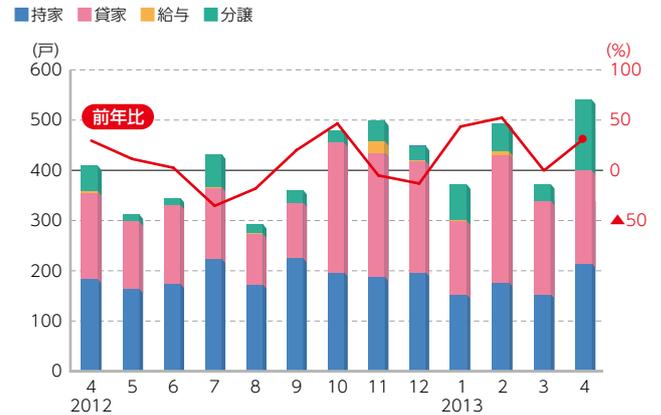
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

4月の新設住宅着工戸数は、546戸と前年同月比33.5%増加しました。

「分譲(マンション)」が大幅に増加した他、消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「分譲(戸建)」も前年を上回る等、好調に推移しています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



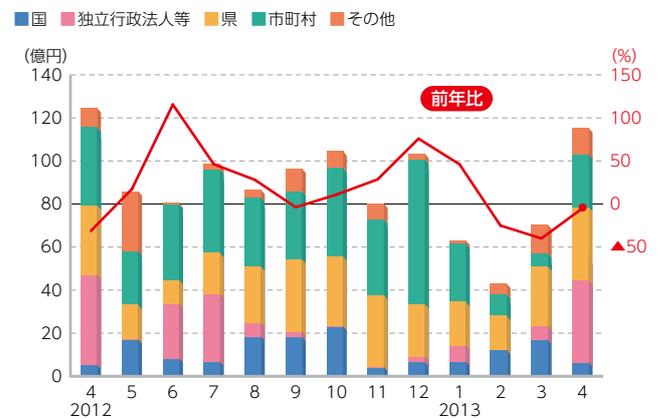
### 4.公共工事 | 足元は持ち直しの動きが一服

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比16.5%増の162件、金額は同9.7%減の113億円となりました。

新幹線関連等の大型案件があったものの、前年同月の水準には及ばず、足元は持ち直しの動きが一服しています。なお、佐賀県の2013年度6月補正予算において、公共事業費は追加で約71億円を計上しており、今後は再び、増加が見込まれます。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



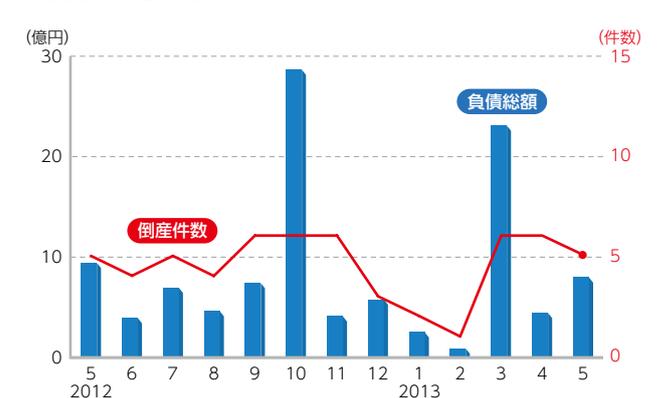
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比変わらず5件、負債総額が同18.4%減の8億円となりました。

販売不振を原因に印刷業等で1億円以上の倒産があったものの、負債総額、件数ともに概ね低水準で推移しています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 大分県の最近の経済動向

### 大分県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、鉄鋼、化学が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

住宅建設は、持ち直しの動きが一服しています。一方、公共工事は前年を大幅に上回りました。

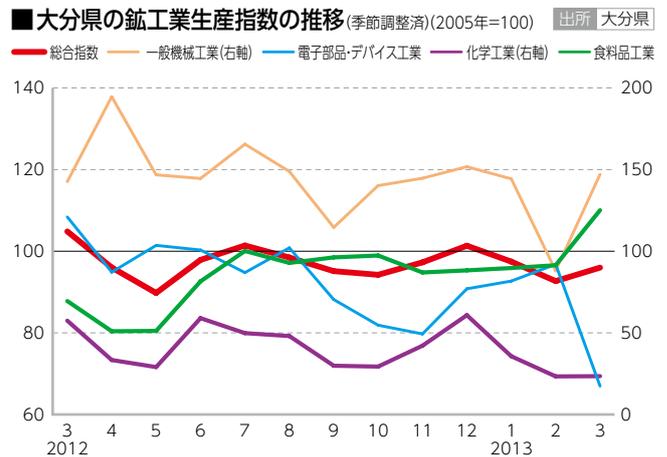
大分県の景気は、消費に弱さが見られますが、生産、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.9と前月比2.5%上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路が減産となった電子部品・デバイスが低下した一方、鋼帯の生産が増加した鉄鋼や、合成樹脂の原料が増産となった化学が上昇する等、生産は、緩やかな持ち直しの動きが見られます。



### 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比3.9%減の91億円となりました。

飲食料品は前年並みとなったものの、衣料品が伸び悩む等、消費は弱含みで推移しています。





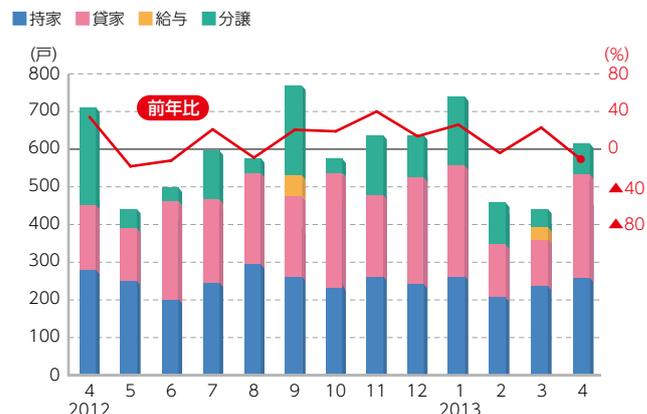
### 3.住宅建設 | 足元は持ち直しの動きが一服

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.2%減の599戸となりました。

「貸家」が前年を大幅に上回ったものの、「分譲(マンション)」が前年から大幅に減少した影響が大きく、足元は持ち直しの動きが一服しています。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 好調に推移している

4月の公共工事保証請負状況は、件数は341件で前年同月比85.3%増加し、金額は259億円で同73.2%増加しました。

発注者別では、県立美術館の大型案件があった「県」が前年から大幅に増加する等、好調に推移しています。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



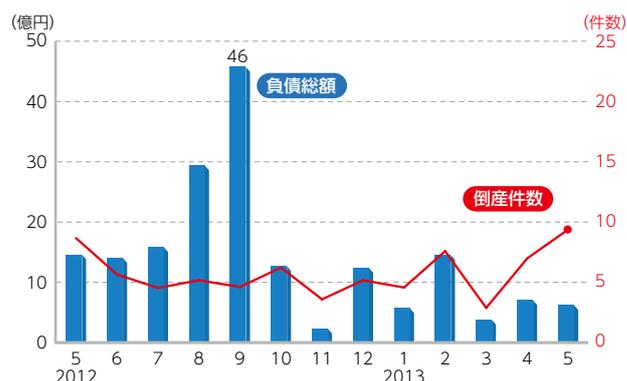
### 5.企業倒産 | 小口の倒産が相次ぐ

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比12.5%増の9件、負債総額が同56.4%減の5億円となりました。

金額は低位で推移しているものの、1億円未満の小口の倒産が相次ぎ、件数は前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 宮崎県の最近の経済動向

### 宮崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

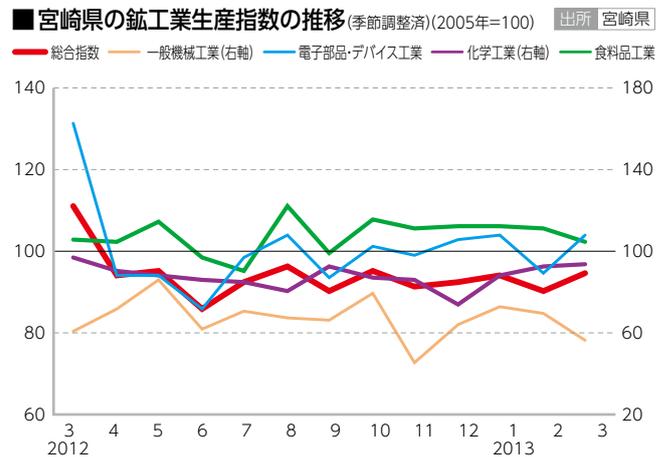
生産活動は、主力の電子部品・デバイス、繊維が増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。大型小売店販売額は弱含みで推移しました。一方、住宅建設は2カ月連続で前年を上回りました。宮崎県の景気は、生産、住宅建設、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

### 1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.0と前月比5.3%上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路の生産が増加した電子部品・デバイス、及び、繊維が上昇する等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。



### 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比3.6%減の69億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品共に前年を下回る等、消費は弱含みで推移しています。





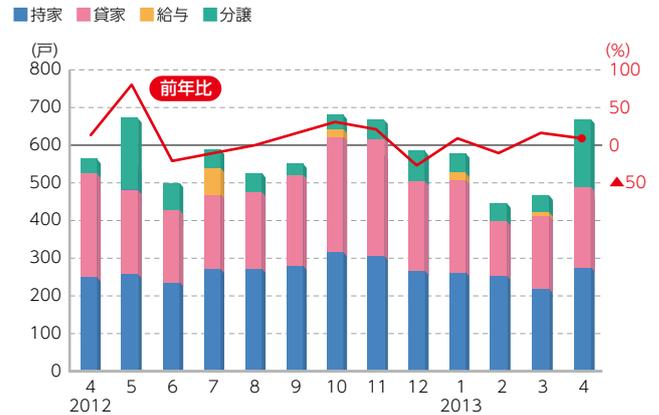
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

4月の新設住宅着工戸数は、673戸と前年同月比18.3%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「分譲(戸建)」が前年を上回った他、「分譲(マンション)」の着工増加も寄与し、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



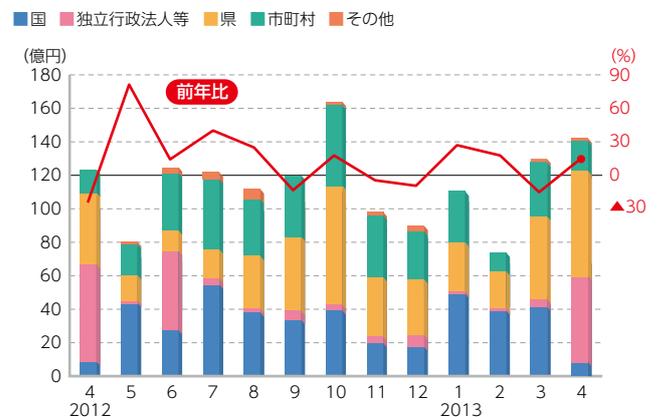
### 4.公共工事 | 持ち直しの動きが見られる

4月の公共工事保証請負状況は、件数は252件で前年同月比42.4%増加し、金額は141億円と同12.4%増加しました。

発注者別では、トンネル工事の大型案件があった「県」が前年から増加した他、全体でも前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



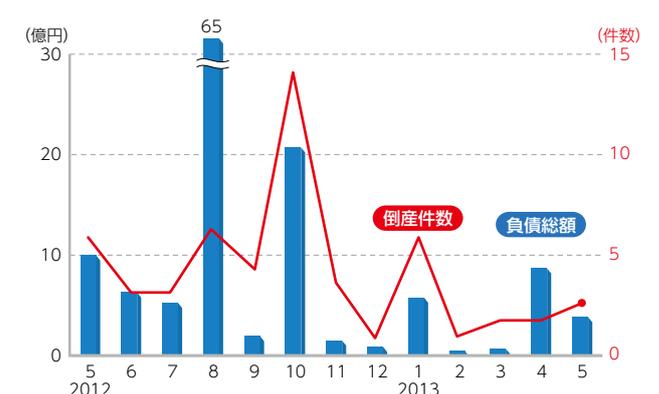
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の3件、負債総額が同66.8%減の3億円となりました。

倒産発生は、負債総額、件数ともに、概ね低水準で推移しています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 鹿児島県の最近の経済動向

### 鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、主力の電子部品・デバイス、窯業・土石製品が増産となる等、一部に明るさが見られます。大型小売店販売額は弱含みで推移しました。一方、住宅建設及び公共事業は、好調に推移しています。鹿児島県の景気は、住宅建設、公共工事が増加する等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

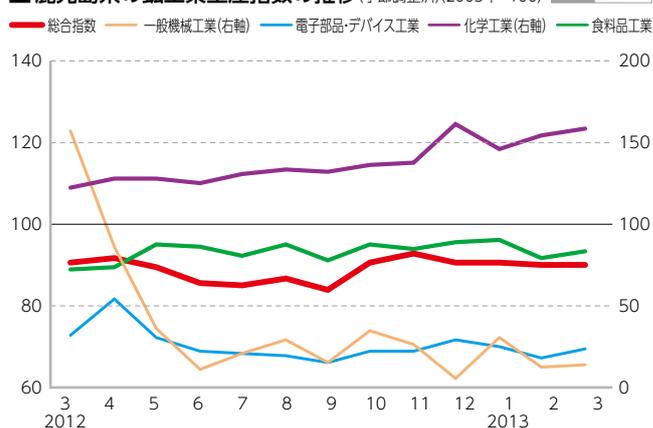
(田中 義一)

### 1.生産活動 | 一部に明るさが見られる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月から変わらず90.2となりました。

主要業種では、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇した他、セラミックス関連製品が増産となった窯業・土石製品等も好調に推移する等、生産は、一部に明るさが見られます。

■ 鹿児島県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(2005年=100) 出所 鹿児島県

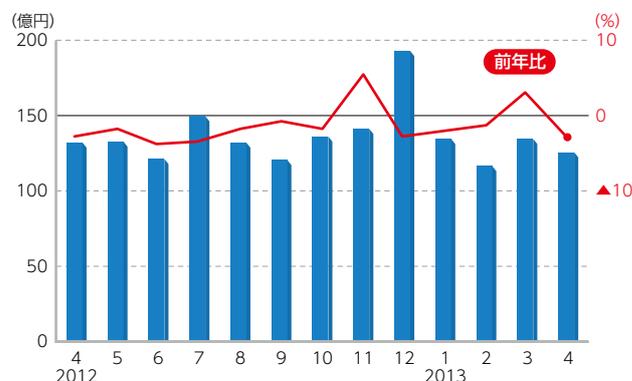


### 2.大型小売店 | 弱含みで推移している

4月の大型小売店販売額は、前年同月比2.4%減の128億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品共に前年を下回る等、消費は弱含みで推移しています。

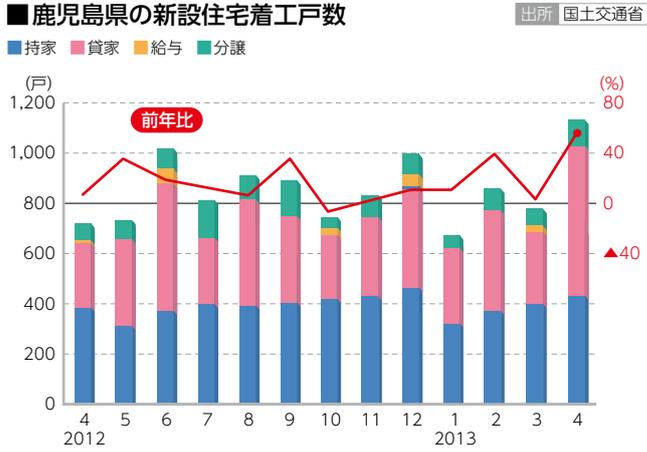
■ 鹿児島県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





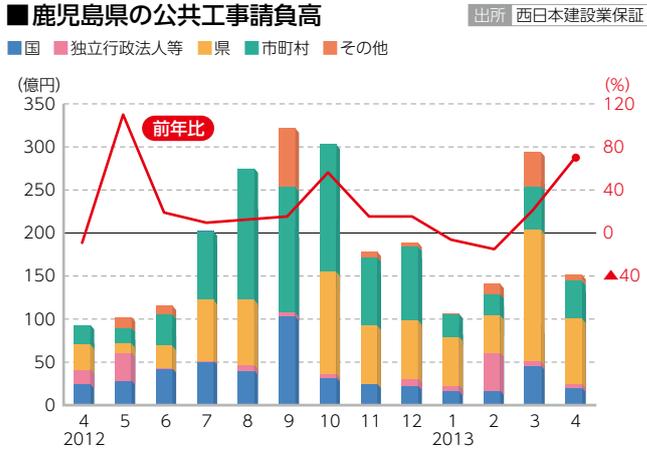
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

4月の新設住宅着工戸数は、1,138戸と前年同月比57.8%増加しました。  
消費増税を意識した駆け込み需要により「貸家」が大幅に増加した他、「持家」「分譲」も好調に推移しました。



### 4.公共工事 | 好調に推移している

4月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比倍増の369件、金額は同65.1%増の156億円となりました。  
発注者別では、道路改築工事の大型案件があった「県」が前年から大幅に増加する等、好調に推移しています。



### 5.企業倒産 | 負債総額は大幅に増加

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比60.0%増の8件、負債総額が同約7.3倍の60億円となりました。  
販売不振を原因に建設業(橋梁型枠工事業)で大型倒産が発生し、負債総額が前年を大幅に上回りました。

